

八幡市のまち・ひと・しごと創生について

1. 概要

平成26年11月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少の抑制と地方創生を目的に、本市における「人口ビジョン」と、それを踏まえた「総合戦略」を策定

2. 人口ビジョンについて

- 本市の人口は、H7年の75,779人をピークに減少傾向
- H24年から出生数が死亡数を下回る人口減少局面に突入（2040年に6万1千人に減少と予測）
- 出生率上昇と社会動態の均衡により、**2040年の人口目標を6万5千人以上**と設定
- 将来人口像の実現に向けた基本的視点として、「出生率向上の視点」、「転出入者対策の視点」、「交流人口拡大の視点」、「持続可能社会を築く視点」の4つを整理

3. 八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

- 人口減少を受け入れながらも、将来にわたって活力ある地域を維持し、住みたくなる・暮らし続けたいくなるような魅力あるまちにしていくため、地方創生の戦略としてまとめたもの。
- 第5次総合計画（平成30年度～）のビジョン創出につなげていくためのアクションプラン**
- 人口ビジョンの4つの基本視点をもとに、3つの柱を設定

将来人口像の実現に向けた「基本的視点」		八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略	施策の方向性
○出生率向上の視点	→	子どもが輝く未来の創生 「やわた子ども未来プロジェクト」	・学力向上 ・地域力向上（絆、安心感） （子育て環境のイメージの向上）
○転出入者対策の視点	→	文化と暮らしの創生 「やわたチャレンジプロジェクト」	・自然、歴史、文化を生かした「観光のまちづくり」 （シビックプライドの向上）
○交流人口拡大の視点	→		
○持続可能社会を築く視点	→	健幸都市の創生 「やわたスマートウェルネスシティプロジェクト」	・健康寿命の延伸 （社会保障経費の抑制）

- 行動指針として、「マーケティング志向、本質を見極めた施策提案」、「持続可能性の追求と結果の重視」、「アイデアやリソース（資源）が集まる仕組みづくり」の3つを設定。
- 3つの柱それぞれ基本目標・具体的施策・指標を設定。（実施状況は、資料2のとおり）

4. 当該戦略の推進

- 国の地方創生加速化交付金及び地方創生推進交付金を活用（活用事業は、別紙のとおり）

5. 第5次八幡市総合計画への反映

- 当該戦略は、第5次八幡市総合計画（H30年度～）の中に反映し、連携した進捗管理を実施＜第5次八幡市総合計画（予定）＞

（将来都市像）

みんなで創って好きになる 健やかで心豊かに暮らせるまち

～住んでよし、訪れてよし Smart Wellness City, Smart Welcoming City, Yawata

基本目標1 とともに支え合う「共生のまち やわた」

基本目標2 子どもが輝く「未来のまち やわた」

基本目標3 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

基本目標4 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

基本目標5 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

基本目標6 持続可能な「安心・安全のまち やわた」